

#1\$2+3 内容

コマンド  
ファイルメニュー  
編集メニュー  
検索メニュー  
ヘルプメニュー

手続き  
テキストのコピー  
テキストの削除  
終了  
編集ウィンドウ

キーボードトピック  
ウィンドウズのキーストローク

1# main\_index  
2\$ ヘルプの目次  
3+ index:0005

#4 ヘルプの使い方について参照するには、F1 を押すか、あるいはヘルプメニューでヘルプの使い方を選択してください

## #5\$+7編集メニュー

編集メニューには、編集作業を元に戻したり、クリップボードにアクセスしたり、テキストを削除したりするようなコマンドが有ります

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 元に戻す  | 直前の編集操作を取り消します                |
| 切り取り  | 選択されたテキストを削除し、それをクリップボードに移します |
| コピー   | 選択されたテキストをクリップボードにコピーします      |
| 貼り付け  | クリップボード内のテキストを、現在の文書に移動します    |
| すべて削除 | 文書中のすべてのテキストを削除します            |
| 削除    | 選択されたテキストを削除します               |

5# menu\_edit

6\$ 編集メニュー

7+ commands:010

## #8\$<sup>9</sup>+<sup>10</sup>ファイルメニュー

ファイルメニューには、新規ファイルを作成したり、既存のファイルをオープンしたり、ファイルを保存したり、印字したり、アプリケーションを終了するといったコマンドがあります

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 新規作成     | (無題)の文書を新規に作成します           |
| 開く       | 既存のファイルを開きます               |
| 閉じる      | 現在の文書を閉じます                 |
| 上書き保存    | 現在の文書の内容が変更されていれば、上書き保存します |
| 名前を付けて保存 | 現在の文書に新しく名前を付けて保存します       |
| 印刷の設定    | プリンタの特性を設定します              |
| 終了       | medit アプリケーションを終了します       |

8# menu\_file

9\$ ファイルメニュー

10+ commands:020

## #11\$12+13検索メニュー

検索メニューには、テキストを検索したり置換したりするコマンドが有ります

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 文字列の検索 | あるパターンテキストを検索します        |
| 文字列の置換 | あるパターンテキストを別のものに置換します   |
| 次を検索   | あるパターンについて、次の検索/置換を行います |

11# menu\_search  
12\$ 検索メニュー  
13+ commands:030

#14\$15+16ヘルプメニュー

ヘルプメニューは、ヘルプシステムにアクセスする手段と、「プログラムについて」ダイアログボックスを提供します

内容            ヘルプトピックの内容を表示します

14# menu\_help

15\$ ヘルプメニュー

16+ commands:040

#<sup>17</sup>\$<sup>18</sup>+<sup>19</sup>K<sup>20</sup>テキストのコピー

クリップボードから文書にテキストをコピーするには、カーソルを挿入したい位置に置き、メニューから 編集|コピー コマンドを選択します

17# proc\_copying\_text

18\$ テキストのコピー

19+ procedures:010

20K copy;clipboard;コピー;クリップボード

## #<sup>21</sup>\$<sup>22</sup>+<sup>23</sup>K<sup>24</sup>テキストの削除

文書のテキストを削除するには、そのテキストを選択し、それから 編集|切り取り または 編集|削除 コマンドをメニューから選択します。切り取りを選ぶと、削除されたテキストはクリップボードに入りますが、削除を選ぶと単に削除されてしまいます

21# proc\_deleting\_text  
22\$ テキストの削除  
23+ procedures:020  
24K delete;clipboard;削除;クリップボード

#25\$26終了

アプリケーションを終了させるには、メニューからファイル|終了を選択してください

25# proc\_exiting  
26\$ 終了

## #27\$28 編集ウィンドウ

このアプリケーションの編集ウィンドウは、64KBまでのテキストファイルを、読み込み、編集し、印刷し、そして保存することが出来ます

27# client\_window

28\$ 編集ウィンドウ

#<sup>29</sup>\$<sup>30</sup>+<sup>31</sup>編集|コピー コマンド

編集|コピー コマンドは、選択されたテキストをそのままにして、そのコピーをクリップボードに入れるというものです。コピーされたテキストを文書の別の場所に挿入するには、編集|貼り付け コマンドを選択してください

29# CM\_EDITCOPY  
30\$ 編集 コピー コマンド  
31+ menu\_edit:020

## #<sup>32</sup>\$<sup>33</sup>+<sup>34</sup>編集|切り取り コマンド

編集|切り取り コマンドは、選択されたテキストを文書から取り去り、そのテキストをクリップボードに入れます。切り取られたテキストを文書の他の場所に張り付けるには、編集|貼り付け コマンドを選択します。テキストはクリップボード中で選択されたままになっているので、くり返し張り付けることができます

#<sup>35</sup>\$<sup>36</sup>+<sup>37</sup>編集|貼り付け コマンド

編集|貼り付け コマンドは、現在クリップボードで選択されているテキストを、現在のウィンドウのカーソル位置に張り付けます

35# CM\_EDITPASTE  
36\$ 編集 貼り付け コマンド  
37+ menu\_edit:040

#<sup>38</sup>\$<sup>39</sup>+<sup>40</sup>編集|元に戻す コマンド

編集|元に戻す コマンドは、現在のウィンドウのファイルを、直前の編集操作を行う前の状態に戻すというものです。元に戻す コマンドは、削除した文字を挿入しますし、挿入した文字があれば削除します。上書きした文字は置き換えますし、カーソル移動した場合は元の位置に戻します

38# CM\_EDITUNDO  
39\$ 編集 元に戻す コマンド  
40+ menu\_edit:050

#<sup>41</sup>\$<sup>42</sup>+<sup>43</sup>編集|すべて削除 コマンド

編集|すべて削除 コマンドは、現在の文書の内容をすべて削除します。内容を元に戻すには、編集|元に戻す コマンドを使用してください

41# CM\_EDITCLEAR  
42\$ 編集|すべて削除 コマンド  
43+ menu\_edit:060

#### #<sup>44</sup>\$<sup>45</sup>+<sup>46</sup>編集|削除コマンド

編集|削除 コマンドは、現在選択されているテキストを、現在の文書から削除します。テキストは、クリップボードには入れられません。テキストを元に戻すには、編集|元に戻す コマンドを使用してください

44# CM\_EDITDELETE  
45\$ 編集\_削除 コマンド  
46+ menu\_edit:070

#<sup>47</sup>\$<sup>48</sup>+<sup>49</sup>ファイル|閉じる コマンド

ファイル|閉じる は現在有効なウィンドウを閉じます

47# CM\_FILECLOSE

48\$ ファイル 閉じる コマンド

49+ menu\_file:010

#<sup>50</sup>\$<sup>51</sup>+<sup>52</sup>ファイル|終了 コマンド

ファイル|終了 コマンドは、`medit`を終了させます。もし、保存していない変更された文書が存在する場合は、終了する前に保存するかどうかたずねます

50# CM\_EXIT

51\$ ファイル 終了 コマンド

52+ menu\_file:020

#<sup>53</sup>\$<sup>54</sup>+<sup>55</sup>ファイル|新規作成 コマンド

ファイル|新規作成 コマンドは、新規の(無題)文書を開き、それを有効なウィンドウにします。  
(無題)の文書は、保存するときその名前をたずねてきます

53# CM\_FILENEW  
54\$ ファイル 新規作成 コマンド  
55+ menu\_file:030

#<sup>56</sup>\$<sup>57</sup>+<sup>58</sup>ファイル|開く コマンド

ファイル|開く コマンドは、「ファイルを開く」ダイアログボックスを表示し、新しい文書ウィンドウに読み込むファイルを選択できるようにします。存在しないファイル名を指定することで、新しい文書を作成することもできます

56# CM\_FILEOPEN  
57\$ ファイル 開く コマンド  
58+ menu\_file:040

#<sup>59</sup>\$<sup>60</sup>+<sup>61</sup>ファイル|上書き保存 コマンド

ファイル|上書き保存 コマンドは、有効なウィンドウの文書をディスクに保存します。もし文書に名前が付けられていなければ、「名前を付けて保存」ダイアログを表示し、名前を付け、保存する場所を指定できるようにします

59# CM\_FILESAVE

60\$ ファイル 上書き保存 コマンド

61+ menu\_file:080

#<sup>62</sup>\$<sup>63</sup>+<sup>64</sup>ファイル|名前を付けて保存 コマンド

ファイル|名前を付けて保存 コマンドは、文書に新しい名前を付けて保存したり、ディスク上の別の場所に保存したりすることを可能にします。このコマンドは、「名前を付けて保存」ダイアログボックスを表示します。ここで、ドライブ名やディレクトリも含めて、新しいファイル名を入力することができます。このファイルを表示しているウィンドウは、すべて新しい名前に更新されます。もし既に存在する名前を選んだ場合は、既存のファイルに上書きしてよいかどうかをたずねます

62# CM\_FILESAVEAS

63\$ ファイル 名前を付けて保存 コマンド

64+ menu\_file:090

## #65\$66+67検索|文字列の検索 コマンド

検索|文字列の検索 コマンドは、現在の文書から特定のテキストパターンを検索します。このコマンドは、検索プロセスを制御するための「検索」ダイアログボックスを表示します。このダイアログの中のオプションによって、単語として検索するか、大文字小文字を区別するか、文章の前方に検索するか後方に検索するか、を指定することができます。適合するものが見つかるたびに、その部分が文書中でハイライトされます

65# CM\_EDITFIND

66\$ 検索 文字列を検索 コマンド

67+ menu\_search:010

#68\$69+70検索|次を検索 コマンド

検索|次を検索 コマンドは、直前の検索ノ置換操作を繰り返します

68# CM\_EDITFINDNEXT  
69\$ 検索|次を検索 コマンド  
70+ menu\_search:020

#71\$72+73検索|文字列を置換 コマンド

検索|文字列を置換 コマンドは、現在の文書から特定のテキストパターンを検索し、見つかったパターンを新しいテキストで置き換えます。このコマンドは、置換プロセスを制御するための「置換」ダイアログボックスを表示します。このダイアログの中のオプションによって、単語として検索するか、大文字小文字を区別するかを指定することができます。このダイアログでは、検索するパターンや見つかったパターンを置換するテキストを入力するのにも使用されます

71# CM\_EDITREPLACE

72\$ 検索 置換 コマンド

73+ menu\_search:030

#74\$75+76ヘルプ|内容 コマンド

ヘルプ|内容 コマンドは、ヘルプの内容ページを表示します

74# CM\_HELPCONTENTS

75\$ ヘルプ 内容 コマンド

76+ menu\_help:010

